

【財政健全化判断比率】

| 区分 | 花巻市 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|-------|---------|--------|
| 実質赤字比率 | 1.6% | 11.85% | 20% |
| 連結実質赤字比率 | 1.6% | 16.85% | 30% |
| 実質公債費比率 | 11.3% | 25% | 35% |
| 将来負担比率 | 84.8% | 350% | |

【資金不足比率】

| 会計名 | 花巻市 | 経営健全化基準 |
|---------------|------|---------|
| 公設地方卸売市場事業 | 1.6% | 20% |
| 下水道事業 | 1.6% | 20% |
| 農業集落排水等汚水処理事業 | 1.6% | 20% |

注1…表中、各基準は国が示した数値です
注2…赤字額、資金不足がない場合は、「-」で表しています

全項目で健全化基準をクリア
財政状況が良好かどうかを示す指標に財政健全化判

財政状況

断比率(4分類)と資金不足比率があります。国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期健全化団体(要注状態)」「財政再生団体(破たん状態)」のいずれの状態にあるか、また各会計の経営状態はどうかを判断することができま

基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると言えますが、引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

借金は減少、貯金は増加
本市の地方債(借金)の現在高は、合併直後の平成18年度末と比べ、およそ212億円減少しています。一方、積立金(貯金)の現在高は、同年度末と比べ、およそ82億円増加しています。

決算などについて、詳しくは
▶決算や財政状況については、本庁財政課へ問い合わせください▶平成26年度決算書、実施した事業の概要や成果をまとめた資料は、同財政課や各市立図書館、各振興センターに備えています▶市の職員が予算や決算などの説明に伺う「ふれあい出前講座」もあります

【特別会計決算の総括表】

(単位:万円)

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引残額 |
|---------------|-----------|-----------|---------|
| 国民健康保険 | 107億 654 | 102億1,785 | 4億8,869 |
| 後期高齢者医療 | 18億7,510 | 18億7,361 | 149 |
| 介護保険 | 95億6,530 | 94億2,019 | 1億4,511 |
| 公設地方卸売市場事業 | 6,221 | 6,026 | 195 |
| 下水道事業 | 40億2,964 | 39億5,076 | 7,888 |
| 農業集落排水等汚水処理事業 | 15億2,053 | 14億8,762 | 3,291 |
| 合計 | 277億5,932 | 270億1,029 | 7億4,903 |

六つの特別会計の決算

市の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」

特別会計

国民健康保険
加入者が納める国民健康保険税や国・県からの交付金などを主な財源として、医療給付や各種保健事業を実施しました。

介護保険
介護保険料や国・県・市の負担金を主な財源として、介護サービスを提供しました。

公設地方卸売市場事業
施設使用料や売上高に依じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。

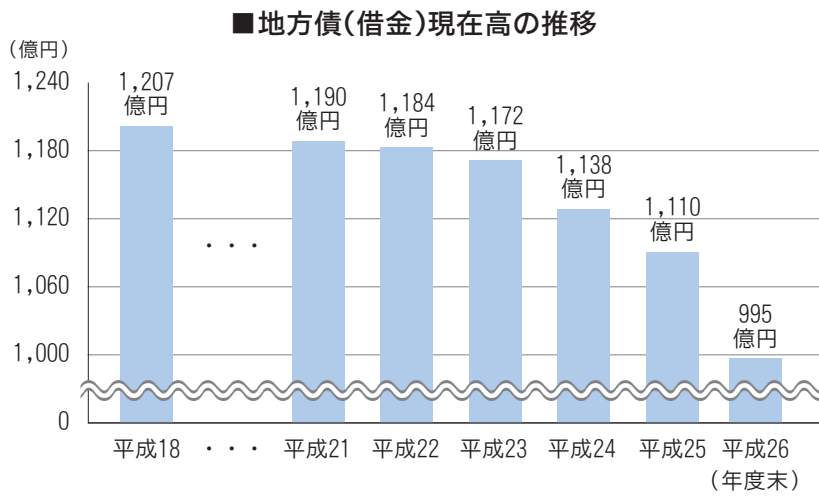
農業集落排水等汚水処理事業
農業集落排水施設使用料や国・県の補助金を主な財源として、汚水処理施設の整備・維持管理などを行いました。

後期高齢者医療
後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種の申請や届け出の受け付け、保険料の徴収などを行いました。

下水道事業
下水道使用料や国の補助金を主な財源として、下水道施設の整備・維持管理などを行いました。

農業集落排水等汚水処理事業
農業集落排水施設は、平成4年度から平成22年度まで整備を実施。花巻地域7地区、大迫地域1地区、石鳥谷地域5地区、東和地域1地区の全ての地区で整備が完了し、供用しています。

用語解説
▶実質赤字比率／普通会計(一般会計など)の赤字比率▶連結実質赤字比率／市の全ての会計(普通会計・特別会計・企業会計)を含めた赤字比率▶実質公債費比率／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率▶将来負担比率／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債(借入金残高など)を見るための比率▶資金不足比率／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率



※水道事業の広域統合に伴い、平成25年度末の地方債現在高のうち、上水道事業会計分(100億円)は、平成26年度に岩手中部水道企業団が引き継ぎました

